

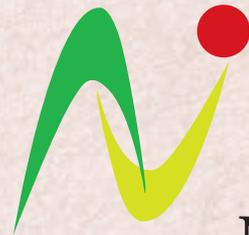
# なかがわ

広報

2018. 5



町のイメージキャラクター  
「なかちゃん」



No.152

- 那珂川町議会議員選挙結果 2
- 生活環境課からのお知らせ 6
- 介護保険料が変わります 10
- 入学おめでとう 12



「入学おめでとう」馬頭東小学校入学式

# 広報 展示室

第152回

ぼく  
漠たる人「明治調でありながらハイカラな人」と語られ、その記述から新しい時代を前にして黙々と絵を描いている清親の姿が浮かび上がってきます。

ところで清親の名を一躍世に広めたのは「光線画」と称された「東京名所図」と呼ばれる作品群でした。これらは西洋の陰影法や遠近法を駆使して東京の名所を描いたものです。しかし清親は画業が多様で幅広く、新しい時代の空気を見事に映しとったこの風景画制作もわずか5年程で筆をおいてしまいます。明治14年以降は人々をデフォルメした風刺画や歴史画で人気の絵師と肩を並べ、晩年には注文に応じて肉筆画も制作しました。明治元年、清親は幕臣として徳川家に従い静岡に移住していました。ところが、6年ぶりの東京は新橋・横浜間に鉄道が敷設され銀座は煉瓦街に生まれ変わるなど、大きく様変わりしていました。尽きることのない好奇心をもった彼にとってめざましい変化は目を見張るものがあつたでしょう。

本図で描かれている新橋駅も、絵師たちに何度も取り上げられた近代化の象徴のひとつでした。夜の雨の中、傘をさした多くの人々が足早に駅へ集まっています。中には人力車でここまで来た人もいます。駅はアメリカ人のブリジェンスによって明治5年、新橋・横浜間の鉄道開設に伴って建設された堅牢な石造りの建物です。内部からは暖かな電灯の光が煌々と漏れ輝き、雨に濡れた地面に光の線を描いています。夜でも明るい電灯は人々の時間の感覚さえも変えたことでしょう。新しいものに溢れた駅を描く一方、清親は蛇の目傘や提灯といった昔ながらの道具を登場させ、近代化の進む東京の中に江戸の情緒を織り込んだ、どこか懐かしい風景を描きだ

## 企画展

### 「小林清親と井上安治」



小林清親 新橋ステーション

しています。

現在、新橋駅と汐留駅の間に位置する旧新橋駅は、同じ位置に駅舎が再現され博物館になっています。当時のプラットホームも残っているので、展覧会を見た後、ぜひ東京を散策してみたいかたがででしょうか。

馬頭広重美術館 学芸員 寺田 早苗

【会期】 5月31日(木)～7月8日(日)

【ミュージアムトーク】 6月2日(土)

午後1時30分～ 当館学芸員

【ワークショップ】

6月16日(土)午後1時30分～「夏の苔玉づくり」

講師 生天目優先生

参加費 1,000円(材料費相当・要申込み)

【開館時間】 午前9時30分～午後5時

(ただし入館は午後4時30分まで)

【休館日】 月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日

【入館料】 大人 500円(450円)

高・大学生 300円(270円)

※( )は20名以上の団体料金

※中学生以下は無料

※障がい者手帳等をお持ちの方とその付き添い1名は半額

## 平成30年工業統計調査を実施します

工業統計調査は我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。

調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

調査時点は6月1日です。

調査票へのご回答をお願いいたします。

問い合わせ

平成30年工業統計調査コールセンター

☎0120-805-071(平日 午前9時～午後6時)

県統計課 ☎028-623-2242

企画財政課 ☎0287-92-1114

